

## 文化・芸術

### 「有耶無耶」(部分)

2010年、陶土、磁土  
サイズ可変

平岩葉子 (1984年)

平岩葉子さんは1984年東京生まれ、94年から桐生に移り住みます。人間をモチーフに立体作品を制作しています。主に陶土を用いて、粘土をひも状にしたものを足から積み上げ、手で直接人の形にしてゆきます。軟らかな粘土は高温で焼き締めることで硬質なものとなりますが、指痕や指紋などの痕跡が残り、手から生み出された生温かさが感じられます。

展示室には人間に似た、頭から棒状のものを複数生やした大小さまざまな像が並びます。本作のタイトル「有耶無耶(うやむや)」はあるのかないのか、はっきりしない曖昧なものを表す言葉ですが、これらの像も顔に表情はあるものの、その気持ちははっきりとはわかりません。頭から噴き出すものは、感情や思考など他者と共有しきれない内なるものなのでしょうか。

当館カフェのテラスにも平岩さんの作品「こかのあの人」が展示されています。一斉に向けられるさまざまな顔。自然光の中でご覧ください。

(大谷)

大川美術館企画展「桐生のアーティスト2022 Natural Mind and Natural Color in KIRYU」から

〈名画の扉〉

